



●NIAの予定 3月～4月●

NIAの行事予定はありません

●学習者紹介●

①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① 周 白露 (月)
- ② 中国、成都市
- ③ 映画鑑賞、料理(四川料理)、旅行(中国・日本)
- ④ 佐藤 清志



- ① アディカリ サンギタ(木)
- ② ネパール、カトマンズ
- ③ 読書、音楽、ダンス
- ④ 人見 順子



●日本語ボランティア研修会 2月13日(水)●

岡田 明子 日本語ボランティア(土)



今年度第2回目の研修会が、参加者40名で実施されました。講師吉田先生による「日本語の3種類の文字」です。前半は本テーマについての講演、私達はボランティアの立場を離れ、日本の文化を伝える文字の存在を資料を基に、実際手を動かしながら気付くという先生の手法に引き込まれ、楽しく知識欲を掻き立てられる時間でした。休憩を挟み後半は「最近教える上で困っていること」について、グループ別に経験の交流、そして全体の中で意見を聞くという形でした。私達の話合いを先生がコーディネートし、また参考になるアドバイスを折々してくださいました。吉田先生、そして一緒に参加したボランティアの皆さん有難うございました。



●私のふるさと自慢⑳● ネパール カトマンズ



ナチーリン ショティ(木)



2015年4月25日カトマンズの北西部で、マグネチュード7.8の大地震が起きました。寺院や建物、人々の家々は一瞬にして破壊され、頻繁に起こる余震によって、絶えず恐怖に襲われる日々が続きました。現在も経済的のみならず精神的にも多大な影響を及ぼしているこの状況は、いつまで続くのでしょうか。



地震の前のダラハラ塔 全壊したダラハラ塔
観光産業が順調に回復する一方、多大な被害を受けた住宅、工業や農業、移住せざるを得なかった農民達の就業に対し、政府は十分な救済や対策ができていません。政争が激化して、首相が度々変わる事態が起きたためです。日本も自然災害が多い国ですが、ネパールと比べて復興が早いところが素晴らしいと思います。まず道路や交通機関が早く回復します。世界各国からの援助と支援を受けながら、まだ復興が続きますが、一日も早く環境が整って、いつもの生活に戻ることができることを願っています。



バサンプルにある寺院

●合格おめでとう!●



◆日本語能力試験◆

日本語能力試験	出身国	担当
N1 ソ ミンギョン (月)	韓国	岩橋 絃菜
N2 周 雪 (水)	中国	小澤 友恵、佐伯 京子
N3 ピムディ アーイ (水)	タイ	本多 郁子
N3 レ ティ ホン (木)	ベトナム	木村 高久
N3 鄭 苗 苗 (月)	中国	二瓶きよみ、佐伯 京子
N4 バイバイ アビゲイル (木) フィリピン		まつだ はつえ
N4 スコット アンダーソン (水) アメリカ		鎌田 庸子

◆日本語教育能力検定試験◆

日本語教育能力検定試験	日本語ボランティア
小林 仁美 (土)	日本語ボランティア
齊藤 優子 (木)	日本語ボランティア

●Nationality Day 2月2日(土)●

佐伯 京子 日本語ボランティア(漢字・土)

外国人支援・国際交流部会とNI-Youthの合同企画で、「Nationality Day」が、「子どもの部」と「大人の部」の2部構成で開催されました。イベントには大人20名、子ども17名(うち土曜学習会11名)、スタッフ12名、NI-Youth16名の合計65名が参加しました。

子どもの部

各国5チームに分かれて得点を競う、プロジェクターを使用した出身国に関連するクイズや、世界国旗シートを使ったビンゴゲームに盛り上がりました。子ども達は日頃接する機会の少ない大学生や高校生と一緒に遊んで、背伸びした興奮と、自分たちの数年後の将来に対する思いなど、得ることの多い2時間だったと思います。

大人の部

これから益々増える在住外国人が日本で生活していく上で、どんな支援活動の要望や相談が出てくるのか、などを話し合いました。



会を進行するNI-Youthのメンバー⇒

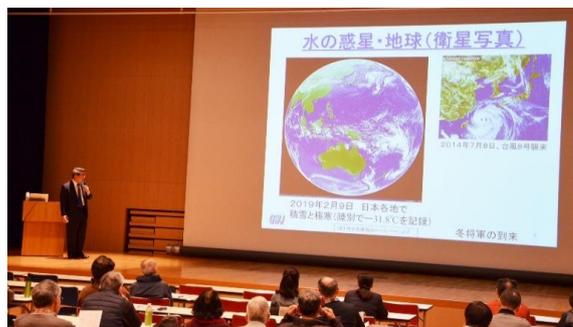
●文化講演会 2月16日(土)●

安藤 有美 日本語ボランティア(月)

会場に入り、講師の先生がテレビで拝見



したことのある方だったので驚きました。吉村和就先生は日本を代表する水環境問題の専門家の人として、また国連本部勤務での経験から、「世界と日本の水環境問題」を講演テーマに、国内や世界各国のさまざまな水環境の課題と問題点を、大変わかりやすい言葉や事例で教えてくださいました。講演内容は盛り沢山でしたが、楽しく学ぶことができました。私は水のことに興味がありましたので、質問時間に手を挙げて、「水道水にフッ化物を添加している国があると聞きましたが、吉村先生のお考えをお聞かせください」と、緊張しながら質問しました。



●世界の料理教室 ネパール編 2月19日(火)●

教えてくださいましたのは、インドのニューデリー出身で来日14年のギータ・ラニさん。ネパール人のご主人が津田沼でネパール料理店を経営しています。

まずは鶏もも肉とじゃがいもを使ったチキンカレー。テーブルに並べられたカルダモン、コリアンダー、挽き立てのクミンの香りが教室を包みます。一言でカレーと言っても、具材とスパイスの組み合わせでその種類は果てしないのだそうです。デザートはセモリナ粉を使ったスージーハルワという一品で、一見卵の花のようですがスパイシーで弾力があり、初めての食感でした。サラダにもシナモンを入れたり、スパイスは欠かせないのだと実感しました。本格的なスパイスの香りが鼻に抜け、ギータさんの流暢な日本語に感動した、刺激的な楽しい時間になりました。(赤)



上：デザート、チキンカレー、サラダ
左：作り方を指導するギータさん

●子どもの日本語指導研修会を受講 2月2日(土)●

北澤 奈奈 日本語ボランティア(土)

長年、中学校と高校で日本語指導をされてきた小川郁子先生の研修会に参加して来ました。先生の貴重なお話を沢山聞くことができ、大変勉強になりました。特に印象的だったのが、子どもの場合母語の喪失・低下の危険性があり、そうすると親子間で会話ができなくなり、子どもが思春期になった時に、親が色々とお教えられるなくなるなどの危険性があるので、母語保持が重要だと力説されていました。今私は小学四年生の中国人に教えており、日本語を教えることばかりに焦点を当てていましたが、今回の研修を経て母語の重要性も今後は指導していく必要があると思いました。また同様の研修会が行われるので、ご興味ある方は参加してみたいかがでしょうか。(NIAからは、細江清高さん、安倍保さん、山澤まさひろさんも参加されました。)

*この研修会は、千葉市JSL児童・生徒支援の会が主催したもので、千葉県国際交流協会が助成しています。

